

2024年6月6日

アグリビジネス投資育成株式会社

「におい」DXによる付加価値創造への取り組み ～株式会社レポーンへの出資について



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役社長：堀部恭二）は、このたび、「におい」を可視化・定量化し、食産業の異常検知や官能評価など「におい」に係る業務のDX化を推進している株式会社レポーン（代表取締役社長：松岡広明、以下「レポーン」）に対して出資しましたのでお知らせいたします。

レポーンは、人の嗅覚の再現に若い頃から取り組んできた松岡氏が、「においの民主化」を掲げて創業したスタートアップ企業です。人の嗅覚については未解明の部分が多く、人は「におい」を「なんとなく」処理・評価していると言われていました。レポーンは、においセンシングデバイスとAIの独自開発、「におい」に関する膨大なデータの蓄積によって、「におい」を可視化・定量化し、「なんとなく」をなくして、専門家でなくても「におい」を適切に識別・評価できるサービスの構築、普及に取り組んでいます。



センシングデバイス：Obre



AI・クラウド：iinioi cloud

食産業を含む多くの企業では、品質管理や商品開発の現場において、「におい」による異常検知や官能評価を人の嗅覚に頼って業務を行っています。人の嗅覚による評価は、人の心身の負担が大きいだけでなく、人によって評価が異なってしまう、また日々の体調によって同じ人でも異なる評価を行ってしまうことがあるなど、不安定な側面もあります。また、「におい」の専門家の育成には長い年月を要するだけでなく、近年は「におい」に関わる業務に従事する人材の後継者不足にも生じていると言われており、人の嗅覚に頼った評価には持続可能性の課題が浮き彫りになってきています。

消費者庁等のデータによると、食産業ではカビや細菌を原因とする異臭による自主回収事案の発生が続いており、「におい」評価による異常検知のニーズは今後も強まると想定されます。また、多様化する消費者ニーズに応えるため、商品の価値や差別化を訴求する要素として、「におい」（香り）の違いを消費者に定量的に示すことで購買を促すということも商品開発の現場では行われています。レボーンでは、農産物やこれを原料とした地域産品について、産地、栽培・製造方法等の違いによる「におい」（香り）の違いを可視化・定量化する取り組みも行っており、このような社会情勢や企業および消費者のニーズに対応できるものと期待されています。

アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は、2002年に設立され、農業法人の財務、経営、事業を支援すべく、600社を超える出資とその後の育成事業を行って参りました。根拠法改正（*）を踏まえ2022年2月より、「国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展」を目的として、漁業・林業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に関わる企業を含む、地域の主力産業である農林水産業者やそれらに関わる新しいビジネスの創出や新たなバリューチェーンの構築・改善等に取り組む事業者に対する支援に取り組んでおります。

（*）「農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法」と改題されました。

弊社は持続可能な食のバリューチェーンの構築に向けて、レボーンのにおいセンシングデバイスとAIによる「におい」の可視化・定量化サービスが、食産業の品質管理や商品開発等の現場での「におい」に関する課題解決に資することに加え、日本の優れた農産物や食料品を「におい」（香り）という軸でさらなる付加価値を生み出しうることも評価し、出資いたしました。農産物や食品を本件出資後におきましても、株主である日本政策金融公庫、農林中央金庫をはじめとした系統組織等のネットワークを活用しながら、レボーンが手掛ける事業をサポートし、食品産業の持続的な発展に貢献するよう取り組んでまいります。

引き続き、弊社は、環境・社会課題の解決に貢献し、SDGsの実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。



アグリビジネス
投資育成株式会社



REVORN
Born to be tech revolution

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL：03-5577-6377